太鼓判

おすすめ品種紹介　　第55回

全農 営農情報・システム推進室では、生産者にあらためて定番としておすすめしたい品種・新定番となりうる品種について、種苗会社にアンケートを実施いたしました。毎号、担い手生産者向けのおすすめ品種を品目ごとにご紹介いたします。

ピーマン

ナス科とうがらし属の「ピーマン」。辛みのないとうがらしを品種改良して誕生しました。サラダや炒め物など、和洋中と多様な料理に使用できる野菜で、加熱によって独特の臭いが和らぎます。収穫までの日数が短く、株の消耗も少ないことから、収穫量が増加する緑色の未熟果のうちに収穫されます。成熟させると赤くなり、苦みが減って甘みが増し、カロテン、ビタミンCといった栄養価がさらに高まります。高温性で暑さに強く、比較的病害虫も少ないので、栽培しやすい野菜です。

見てきれい!食べて美味しい!

L3シグナル赤、黄、橙

(公財)園芸植物育種研究所

PMMoV（$P_{1,2}$）に抵抗性（L^3）があり、家庭用の使いきりサイズで、味にくせがない。各色組み合わせや中大果の１果売りに適する。パプリカより水分が少なく、サラダや炒め物に重宝し、棚持ち性にも優れる。

栽培のポイント

収穫まで日数を要し、株への負担が大きくなるので、若苗定植や摘果を徹底し、初期から旺盛な株をつくることが重要。１～３分枝は摘果または緑果収穫、４～６分枝は主枝１果、７分枝以降は主枝１果＋側枝１果とする。

果物みたいな香りと甘さのミニ果実

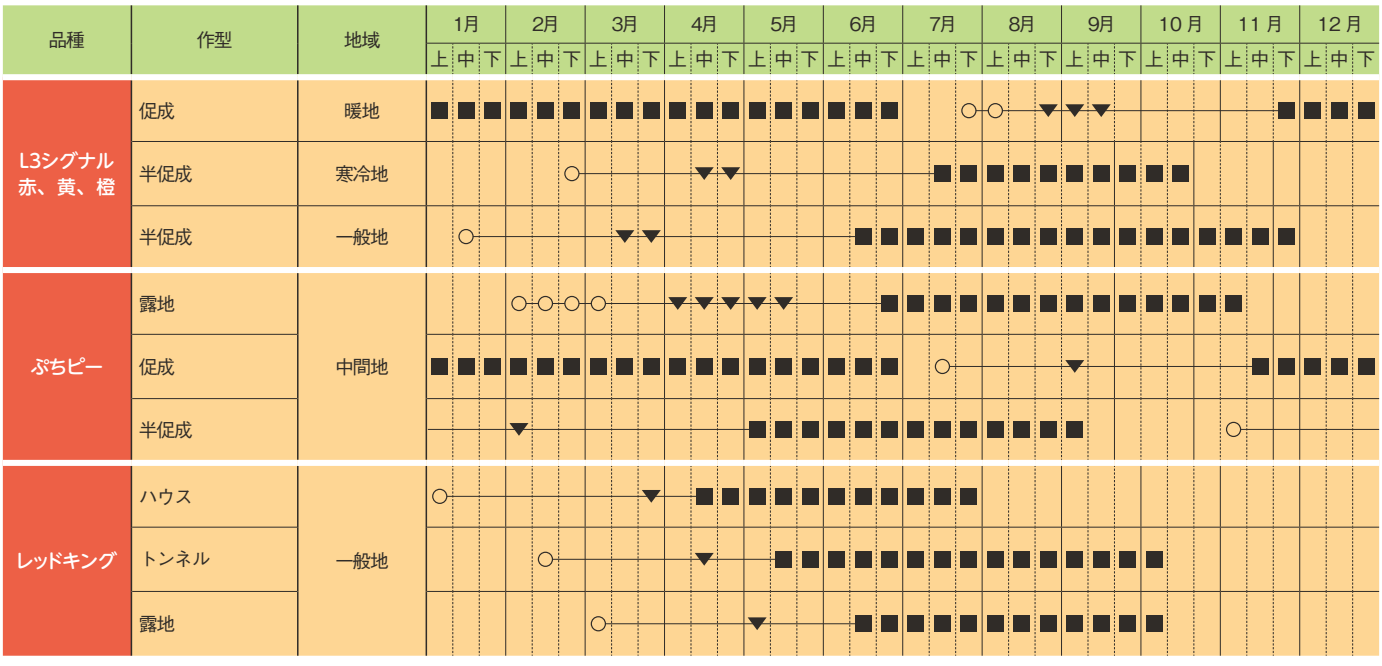
ぷちピー

トキタ種苗㈱

フルーツの香りと甘さを兼ね備えた完熟果は、冷やしてデザート感覚に。種が少なく、ヘタも小さい。未熟果も甘みがあり、一般のピーマンより食べやすい。中、大玉のカラーピーマンより多数の果実が収穫できる。完熟果実は５色ある。

栽培のポイント

分枝、生育は旺盛。最初の果実は取り除き、生育を優先させる。収穫が始まったら追肥をあたえ、樹勢を保つ。果実が小さいので樹の負担が軽いが、適期収穫を心がける。



○：播種　▼：定植　■：収穫

●問い合わせ先　(公財) 園芸植物育種研究所 生産管理部 TEL.047－387－3827　トキタ種苗㈱ メディアシステム課 TEL.048－685－3190

肉厚で赤色の甘いジャンボピーマン！

レッドキング
中原採種場㈱

果重150ｇ、肉厚のジャンボピーマン。果色は濃緑でツヤがよく、さらに熟果は赤色となる。早生で草勢が強く、栽培しやすい豊産種。市場出荷のほか、自家菜園用としても最適。熟果は甘みがあり好評。

栽培のポイント

昼間25～30℃、夜間15～20℃の管理を心がける。根は細く浅いため、乾燥と過湿に注意が必要。収穫最盛期に花が落ちてしまう場合には、果実を若どりすることで株への負担を軽減させ、草勢の回復を促す。

これは「くだもの」だ！

プルチーノレッド、オレンジ、イエロー
ナント種苗㈱

開花後40～50日で収穫となる赤・オレンジ・黄のミニパプリカで、各色とも果重60ｇ前後でよく揃う。糖度が高く、ジューシーな肉質で、フルーティな香りを楽しめる。草勢は中程度で栽培しやすい。

栽培のポイント

なるべく長く収穫するため、初期の２～３果は早めに取り除く。高温乾燥期は、適宜かん水・追肥に努め、草勢の安定を図る。

よく穫れるジャンボピーマン！

ジャンピー
丸種㈱

果実の長さ17㎝、果径５㎝、果重200ｇにもなるジャンボピーマン。肉厚で食べ応え十分の美味しい品種である。種子はたいへん少なく、業務・加工にも最適。

栽培のポイント

大型の果実が多くなるので、水切れや肥料切れのないように管理する。大きくして収穫するだけではなく、80ｇくらいから収穫を開始すれば、樹への負担は減少し、長い期間楽しめる。

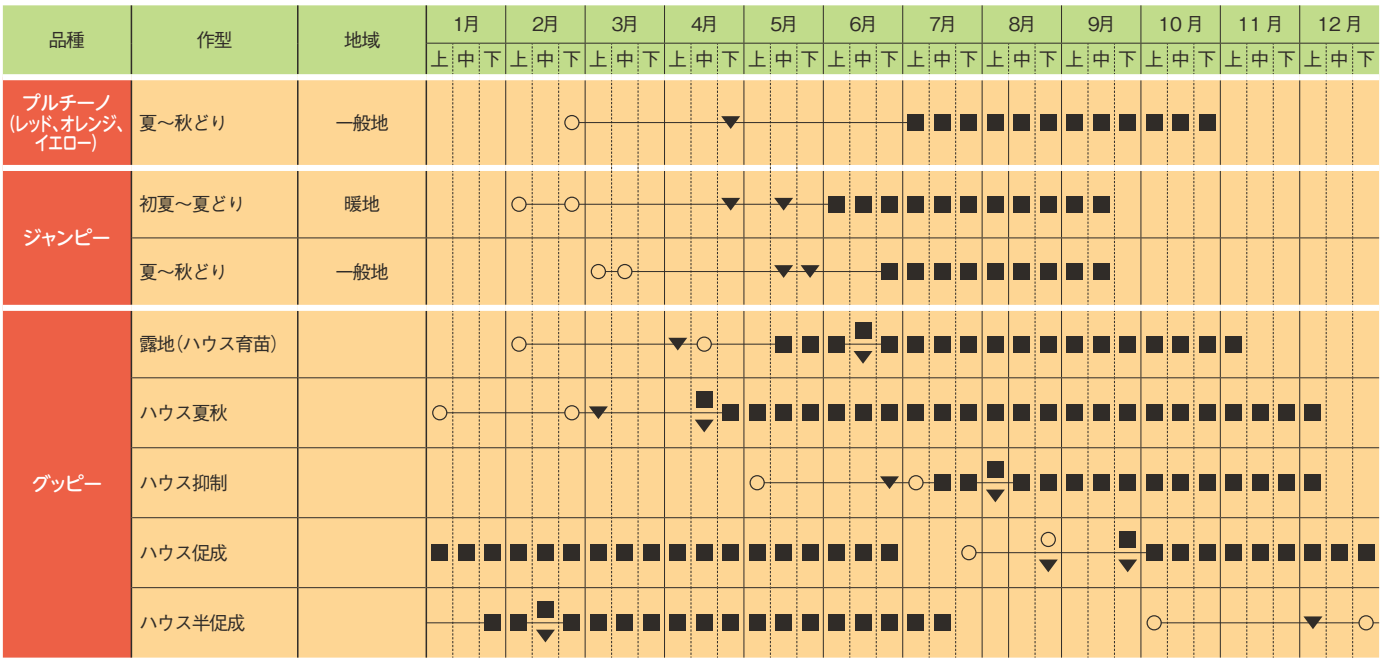
青枯病に強い！多収性のピーマン

グッピー
横浜植木㈱

青枯病に強く、草勢旺盛でPMMoV-L３抵抗性あり。高温・低温期でも着果良好で、果皮は濃緑色でツヤがよく、赤ピーマンとしても出荷可能。

栽培のポイント

第１分枝を確認後に定植し、花は早期に取り除く。毎朝かん水し、着果後に生育をみながら追肥を行う。過着果時はうどんこ病予防を徹底し、天敵利用時も殺菌剤散布を忘れずに。



○：播種　▼：定植　■：収穫

中原採種場㈱ 営業部 TEL.092－591－0310　ナント種苗㈱ 営業部 TEL.0744－22－3351　丸種㈱ 営業部 TEL.075－371－5101　横浜植木㈱ 国内営業部 TEL.045－262－7400